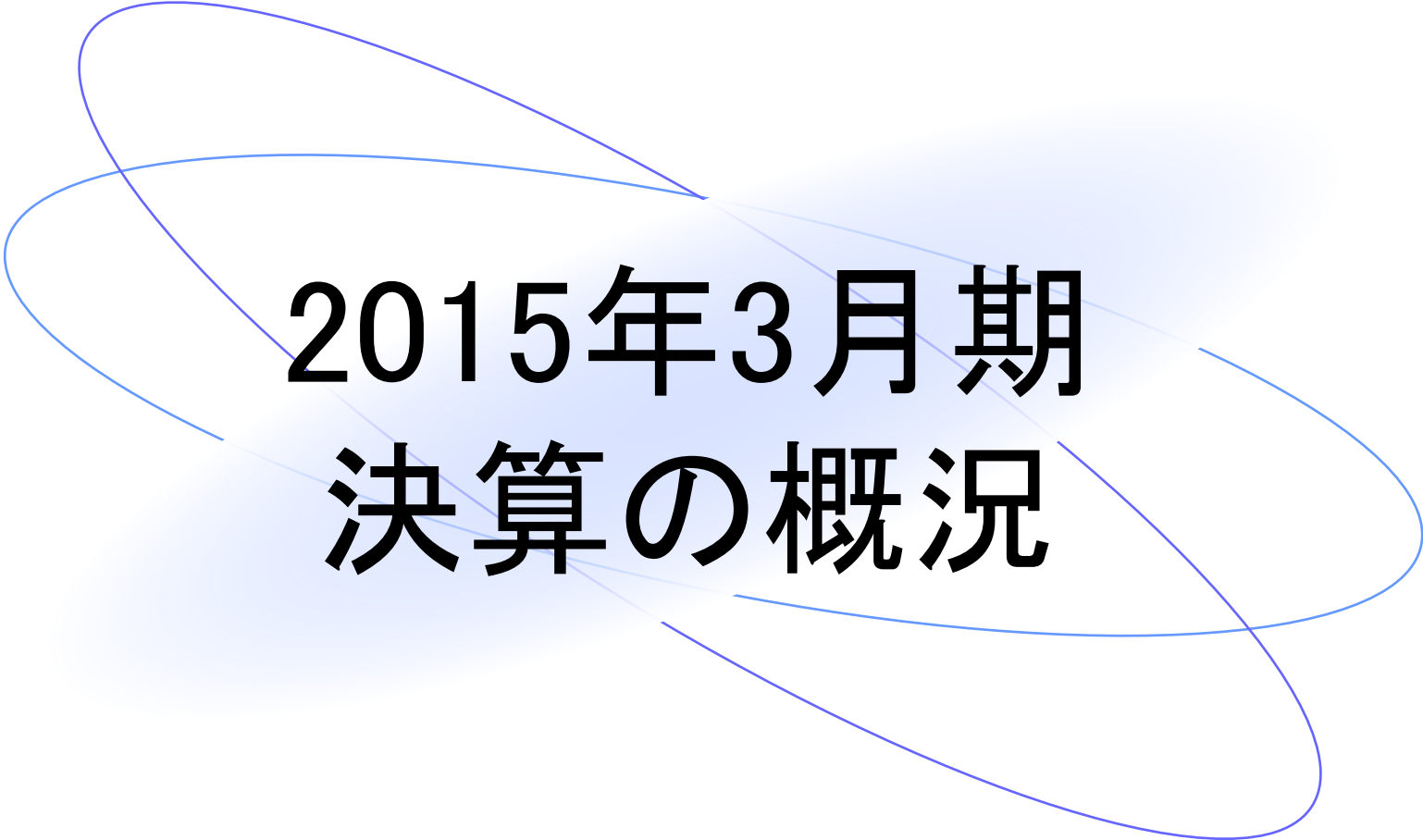


株式会社 ハーモニック・ドライブ・システムズ

2015年3月期決算説明会

2015年5月19日

このプレゼンテーション資料には、2015年5月19日現在の将来に関する予想が含まれております。この予想は当社経営者の判断に基づくものであり、事業環境の変動等のリスクや不確定要因を含んでおります。そのため、実際の業績は、これら見通しと大きく異なる結果となる場合があることをご了承願います。

A decorative graphic consisting of a light blue oval with a darker blue gradient, overlaid with a thin blue line that forms a larger, irregular oval shape around the text.

2015年3月期 決算の概況

2015年3月期 連結業績(対従来予想比)

単位:百万円

	従来予想(14年11月12日発表)		15年3月期		対従来予想比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	26,000	100.0	25,951	100.0	▲48	▲0.2
営業利益	7,350	28.3	7,066	27.2	▲283	▲3.9
経常利益	7,730	29.7	7,525	29.0	▲204	▲2.6
当期純利益	4,900	18.8	4,833	18.6	▲66	▲1.4
EPS(円)	53.50	—	52.77	—	▲0.73	▲1.4

※EPSは、2014年10月1日付け株式分割(1:3)が当連結会計年度の期首に実施されたと仮定して算定しております。

2015年3月期 連結業績(対前期比)

単位:百万円

	14年3月期		15年3月期		対前期比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	21,083	100.0	25,951	100.0	4,867	23.1
営業利益	4,668	22.1	7,066	27.2	2,398	51.4
経常利益	4,822	22.9	7,525	29.0	2,702	56.0
当期純利益	2,993	14.2	4,833	18.6	1,839	61.5
EPS(円)	32.68	—	52.77	—	20.09	61.5
設備投資額	1,304	—	2,475	—	1,171	89.8
減価償却費	1,170	—	1,305	—	134	11.5
研究開発費	1,235	—	1,309	—	74	6.0

※EPSは、2014年10月1日付け株式分割(1:3)が前連結会計年度の期首に実施されたと仮定して算定しております。

2015年3月期 主要グループ会社の業績

単位:百万円

	出資比率	売上高		当期純利益	
		金額	対前期増減率(%)	金額	対前期増減率(%)
(株) ハーモニック・ドライブ・システムズ	—	23,029	23.9	4,063	45.5
※2 米国子会社(連結) エイチ・ディ・システムズ (ハーモニック・ドライブ・エルエルシー)	100% (51%)	3,417	7.3	128	▲1.7
(株) ハーモニック・エイディ	100%	2,102	11.4	97	77.2
※3 ハーモニック・ドライブ・アーゲー (ドイツ)	36.8%	10,030	28.1	1,437	57.2

※1 海外子会社及び海外関連会社の決算日は12月31日です。

※2 為替レート 2013/12期:1US\$ =97.65円 2014/12期:1US\$ =105.85円

※3 為替レート 2013/12期:1€ =129.68円 2014/12期:1US\$ =140.42円

※4 米国子会社(連結)の当期純利益は、少数株主利益控除後の金額です。

2015年3月期 単体業績(対前期比)

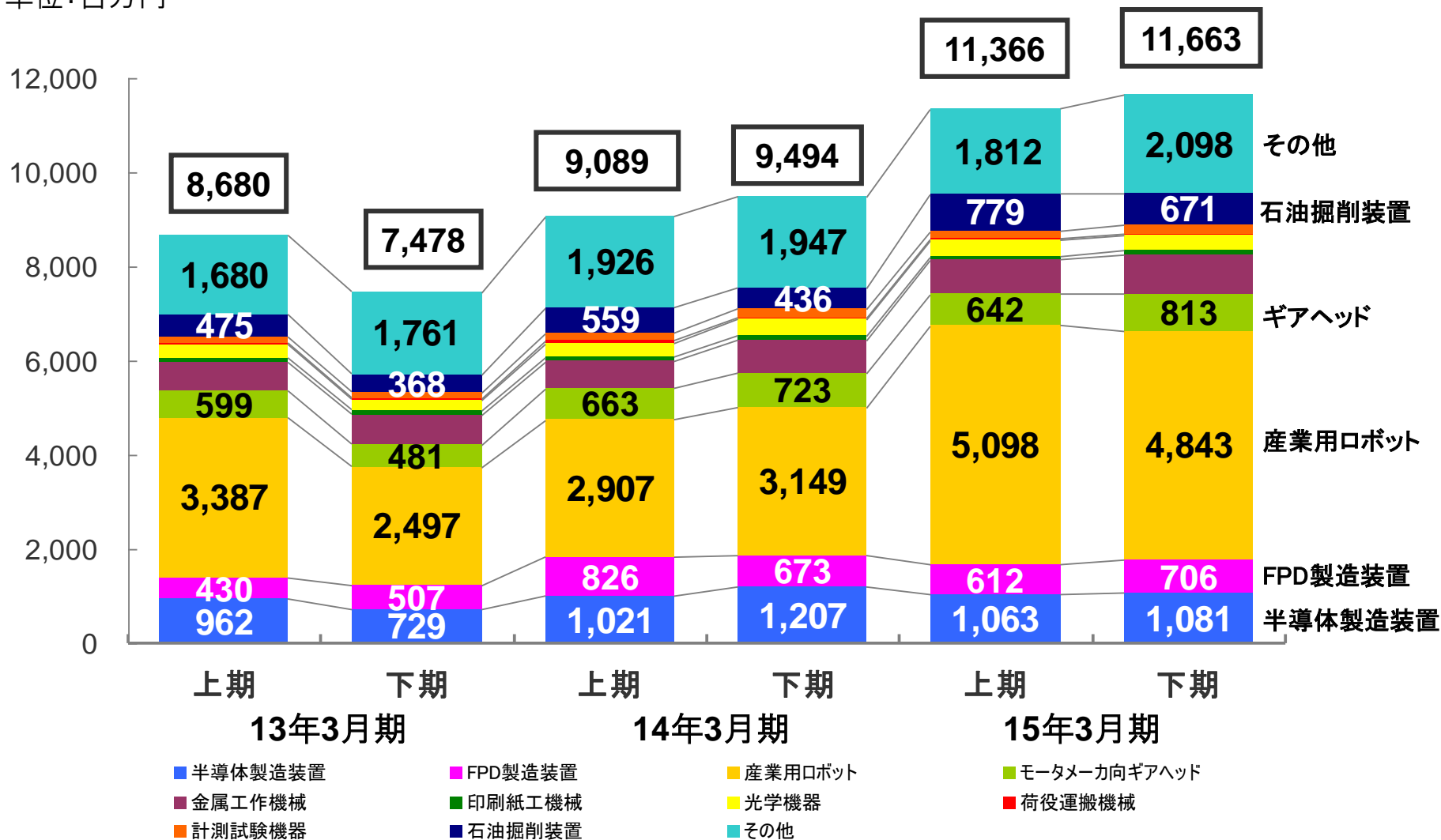
単位:百万円

	14年3月期		15年3月期		対前期比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	18,584	100.0	23,029	100.0	4,445	23.9
営業利益	4,180	22.5	5,975	25.9	1,794	42.9
経常利益	4,375	23.5	6,340	27.5	1,964	44.9
当期純利益	2,792	15.0	4,063	17.6	1,271	45.5
EPS (円)	30.49	—	44.37	—	13.88	45.5
設備投資額	617	—	1,456	—	839	136.1
減価償却費	712	—	756	—	44	6.2
研究開発費	1,224	—	1,296	—	72	5.9

※EPSは、2014年10月1日付け株式分割(1:3)が前会計年度の期首に実施されたと仮定して算定しております。

単体用途別売上高

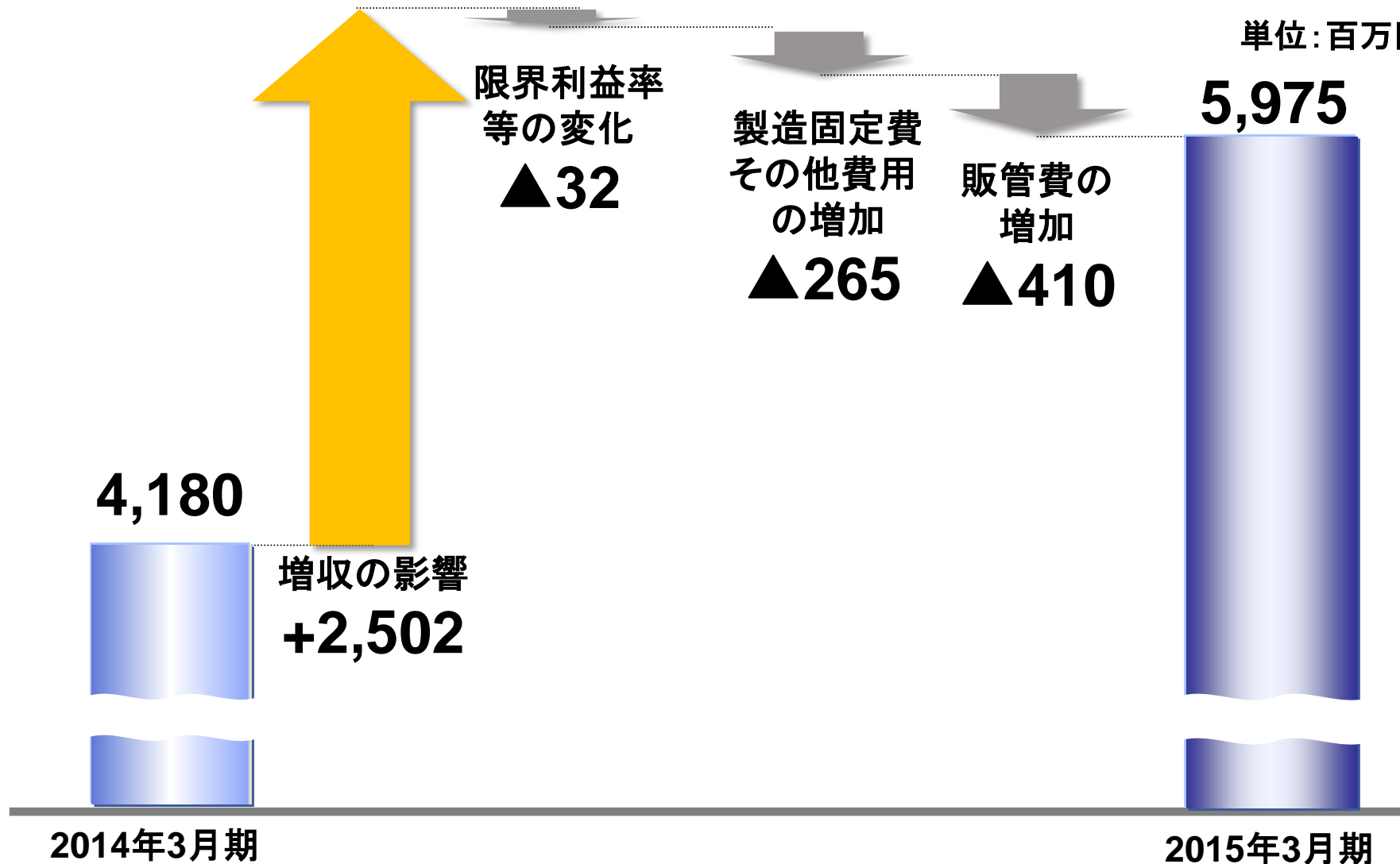
単位:百万円



2015年3月期

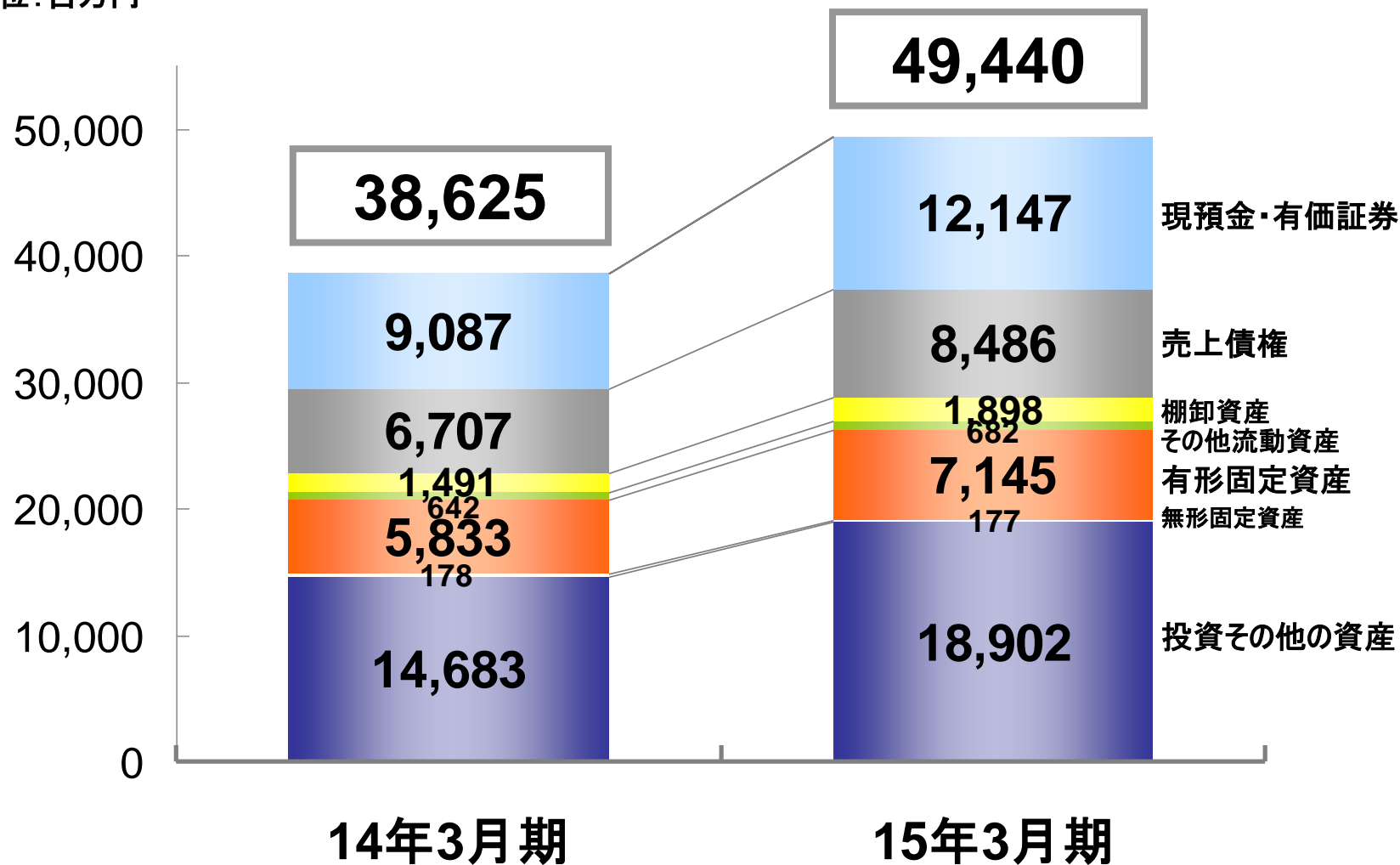
単体営業利益 対前期比増減要因

単位: 百万円



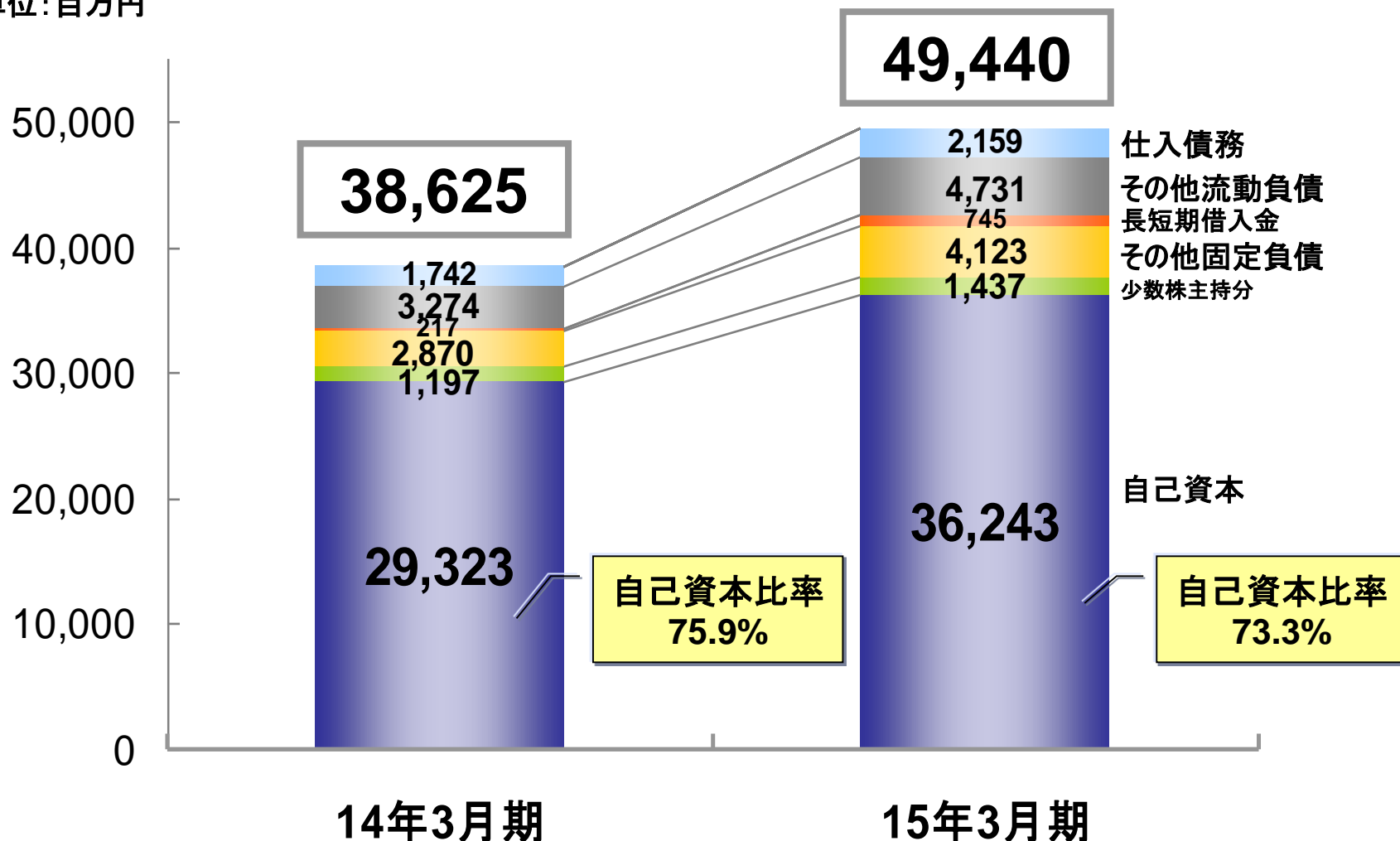
連結資産の状況

単位:百万円



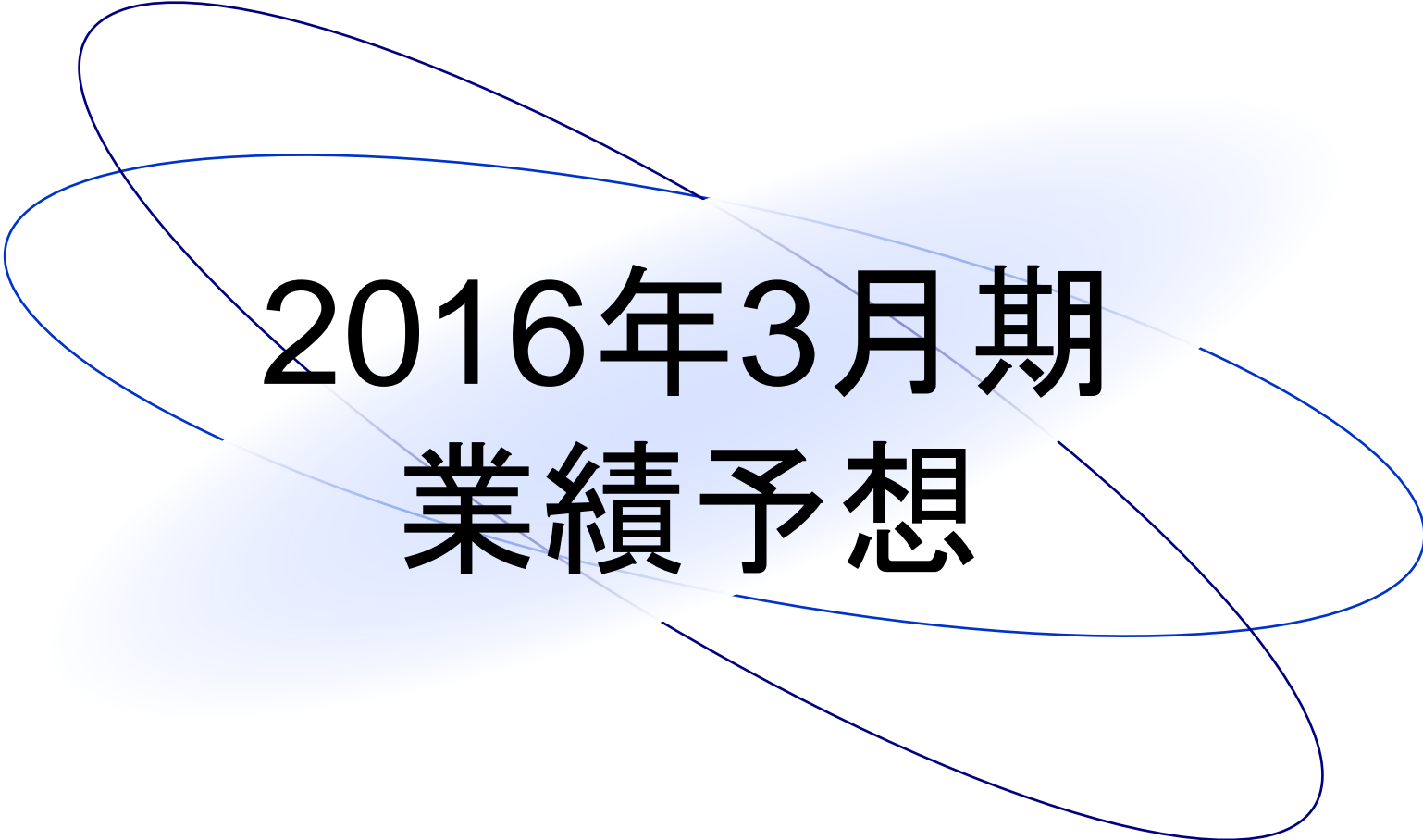
連結負債純資産の状況

単位：百万円



連結キャッシュ・フローの状況

単位：百万円	14年3月期	15年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,643	5,494
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,102	▲ 1,603
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 5,591	▲ 737
換算差額	221	193
現金及び現金同等物の増(▲減)額	▲ 2,829	▲ 3,346
現金及び現金同等物の期末残高	6,883	10,230

The background features several overlapping, hand-drawn blue scribbles that form a large, irregular shape around the central text.

2016年3月期 業績予想

2016年3月期 連結業績予想

単位：百万円

	15年3月期		16年3月期(予想)		対前期比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	25,951	100.0	29,000	100.0	3,048	11.7
営業利益	7,066	27.2	7,800	26.9	733	10.4
経常利益	7,525	29.0	8,400	29.0	874	11.6
当期純利益	4,833	18.6	5,500	19.0	666	13.8
EPS(円)	52.77	—	60.05	—	7.28	13.8
設備投資額	2,475	—	5,700	—	3,224	130.2
減価償却費	1,305	—	1,700	—	394	30.3
研究開発費	1,309	—	1,520	—	210	16.1

※16年3月期(予想)の前提為替レート：1US\$ = ¥115.00 1€ = ¥135.00

※EPSは、2014年10月1日付け株式分割(1:3)が2015年3月期の期首に実施されたと仮定して算定しております。

2016年3月期 主要グループ会社の業績予想

単位:百万円

	出資比率	売上高		当期純利益	
		金額	前期比 (%)	金額	前期比 (%)
(株) ハーモニック・ドライブ・システムズ	—	25,000	8.6	4,600	13.2
※2 米国子会社(連結) エイチ・ディ・システムズ (ハーモニック・ドライブ・エルエルシー)	100% (51%)	4,000	17.1	150	16.8
(株) ハーモニック・エイディ	100%	2,200	4.6	105	7.9
※3 ハーモニック・ドライブ・アーゲー (ドイツ)	36.8%	10,400	3.7	1,880	30.7

※1 海外子会社及び海外関連会社の決算日は12月31日です。

※2 為替レート 2014/12期:1US\$ = 105.85 円 2015/12期予想:1US\$ = 115.00円

※3 為替レート 2014/12期:1€ = 140.42 円 2015/12期予想:1€ = 135.00 円

※4 米国子会社(連結)の当期純利益は、少数株主利益控除後の金額です。

2016年3月期 単体業績予想

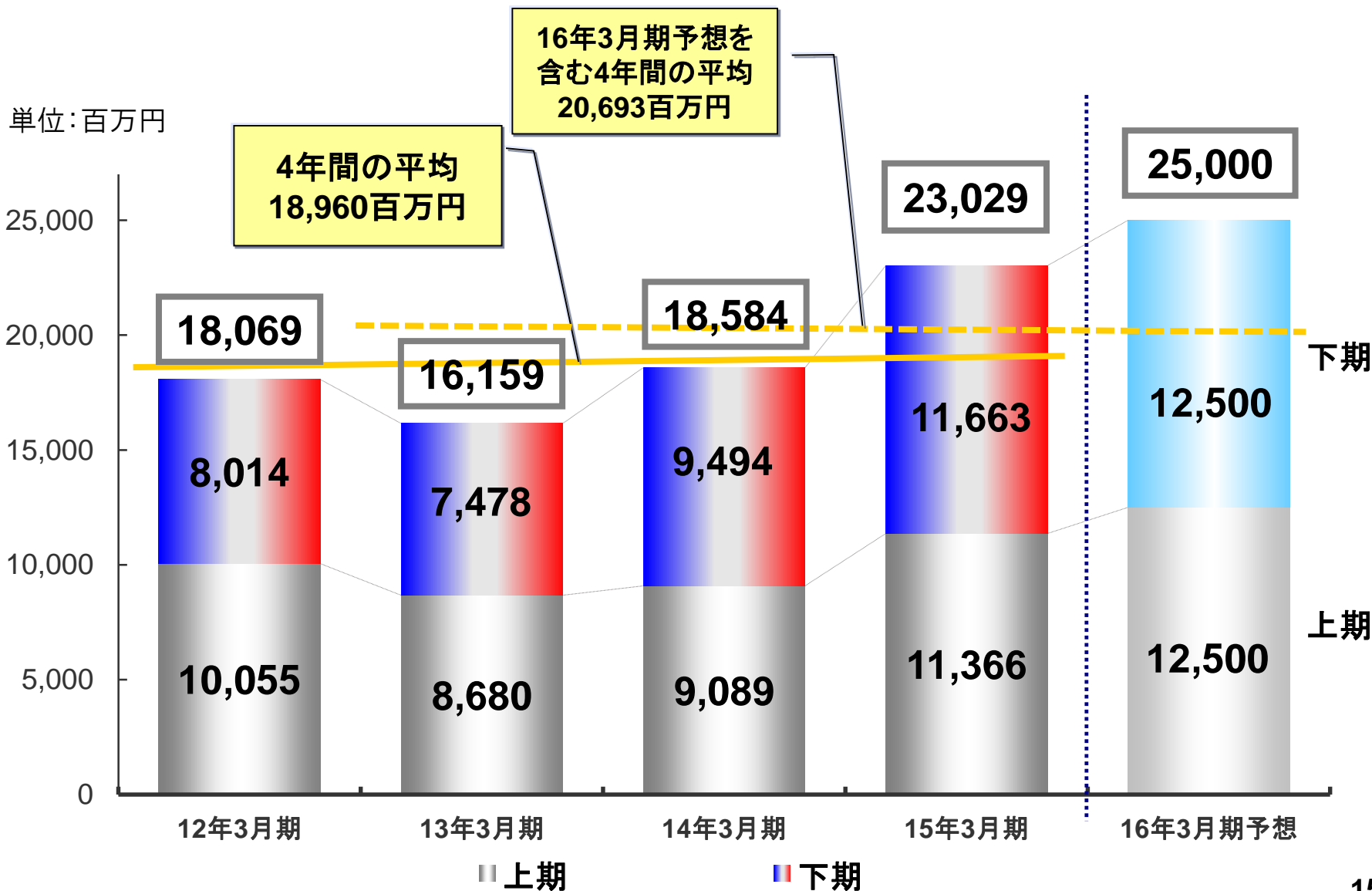
単位:百万円

	15年3月期		16年3月期(予想)		対前期比	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	増減額	増減率(%)
売上高	23,029	100.0	25,000	100.0	1,970	8.6
営業利益	5,975	25.9	6,300	25.2	324	5.4
経常利益	6,340	27.5	6,900	27.6	559	8.8
当期純利益	4,063	17.6	4,600	18.4	536	13.2
EPS(円)	44.37	—	50.22	—	5.85	13.2
設備投資額	1,456	—	4,700	—	3,243	222.7
減価償却費	756	—	1,050	—	293	38.8
研究開発費	1,296	—	1,500	—	203	15.7

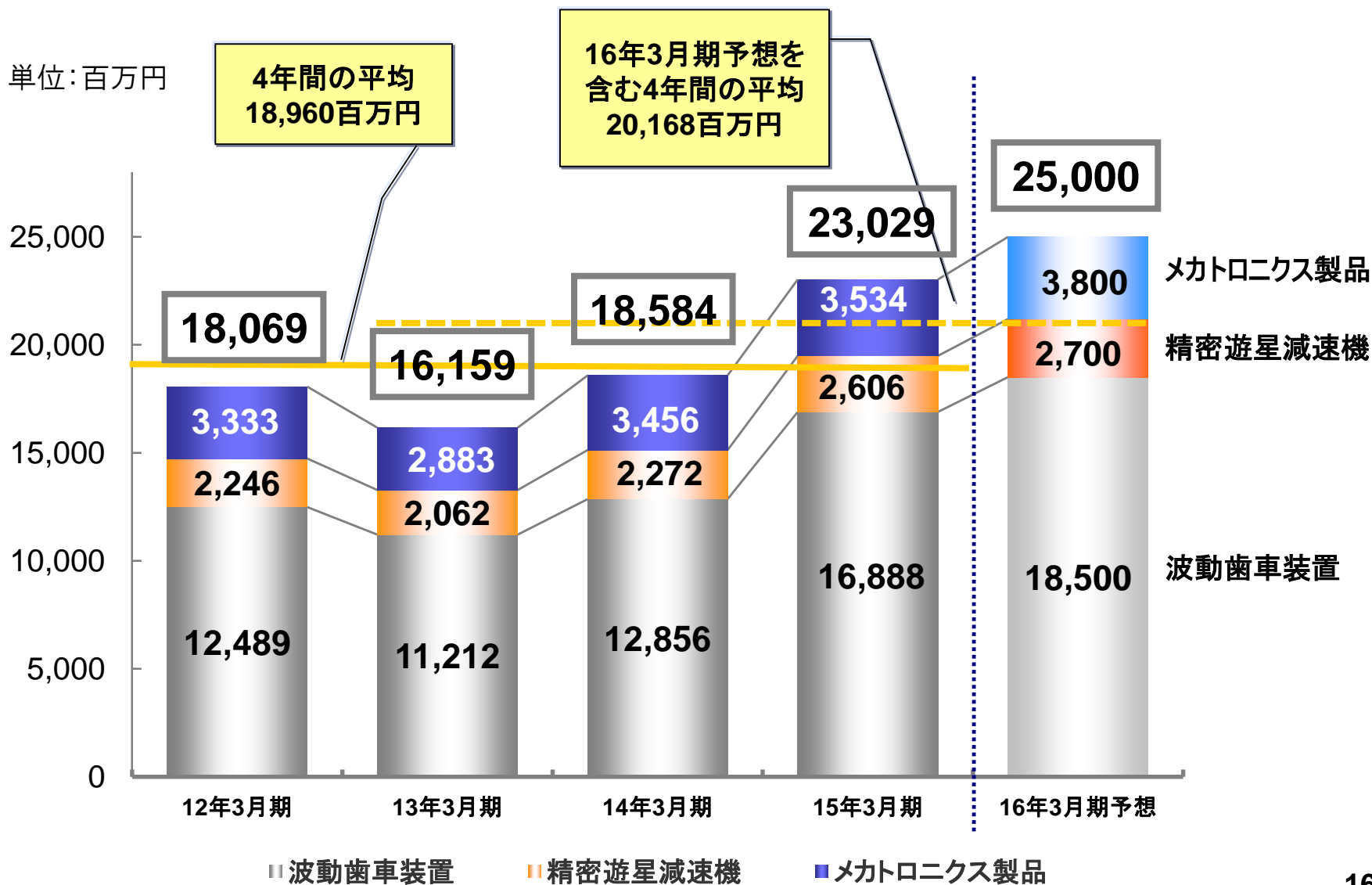
※16年3月期(予想)の前提為替レート: 1US\$ = ¥ 115.00 1€ = ¥135.00

※EPSは、2014年10月1日付け株式分割(1:3)が2015年3月期の期首に実施されたと仮定して算定しております。

単体売上高の推移

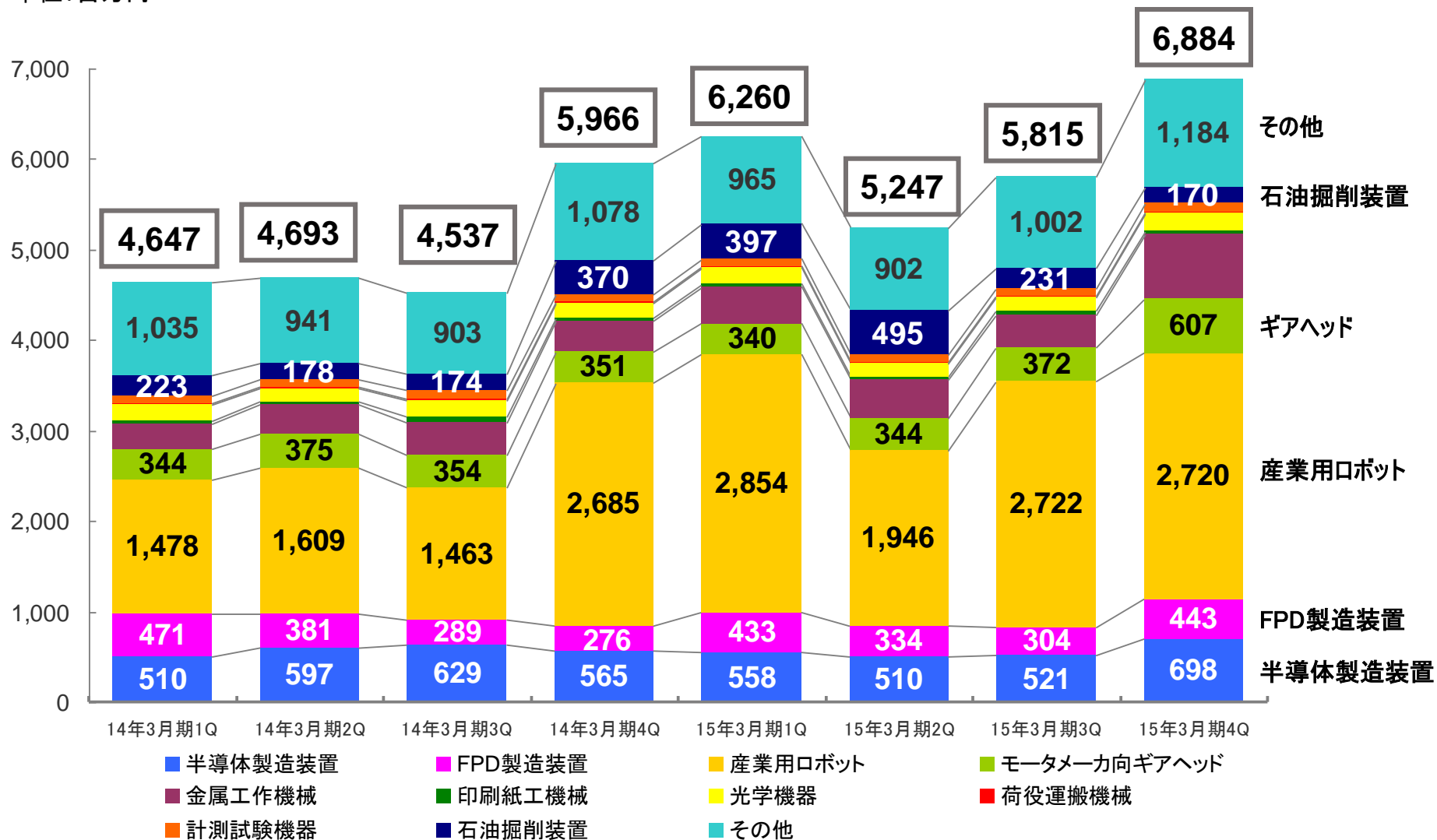


単体製品群別売上高の推移



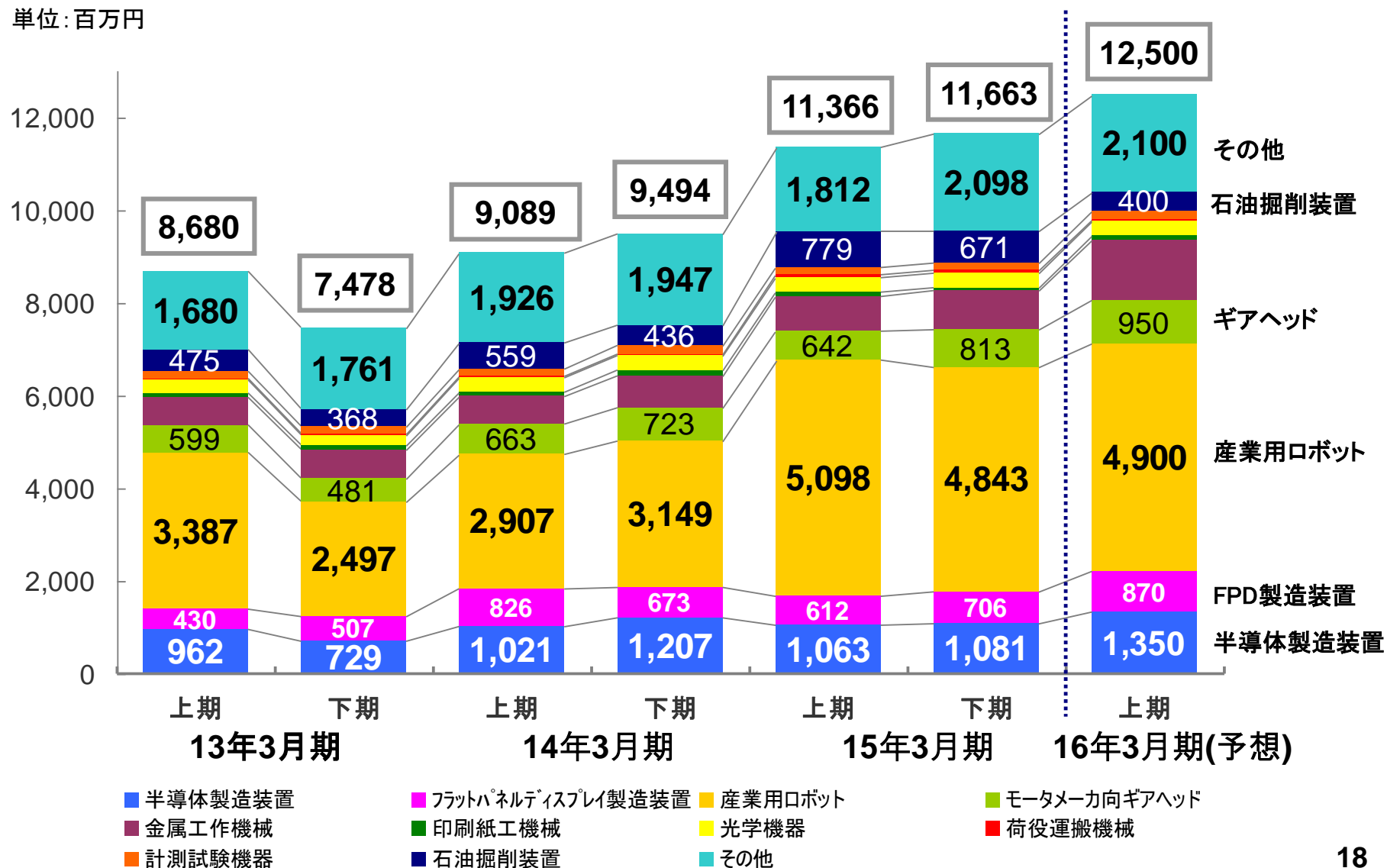
単体用途別「受注高」【四半期】

単位:百万円



単体用途別「売上高」【半期】

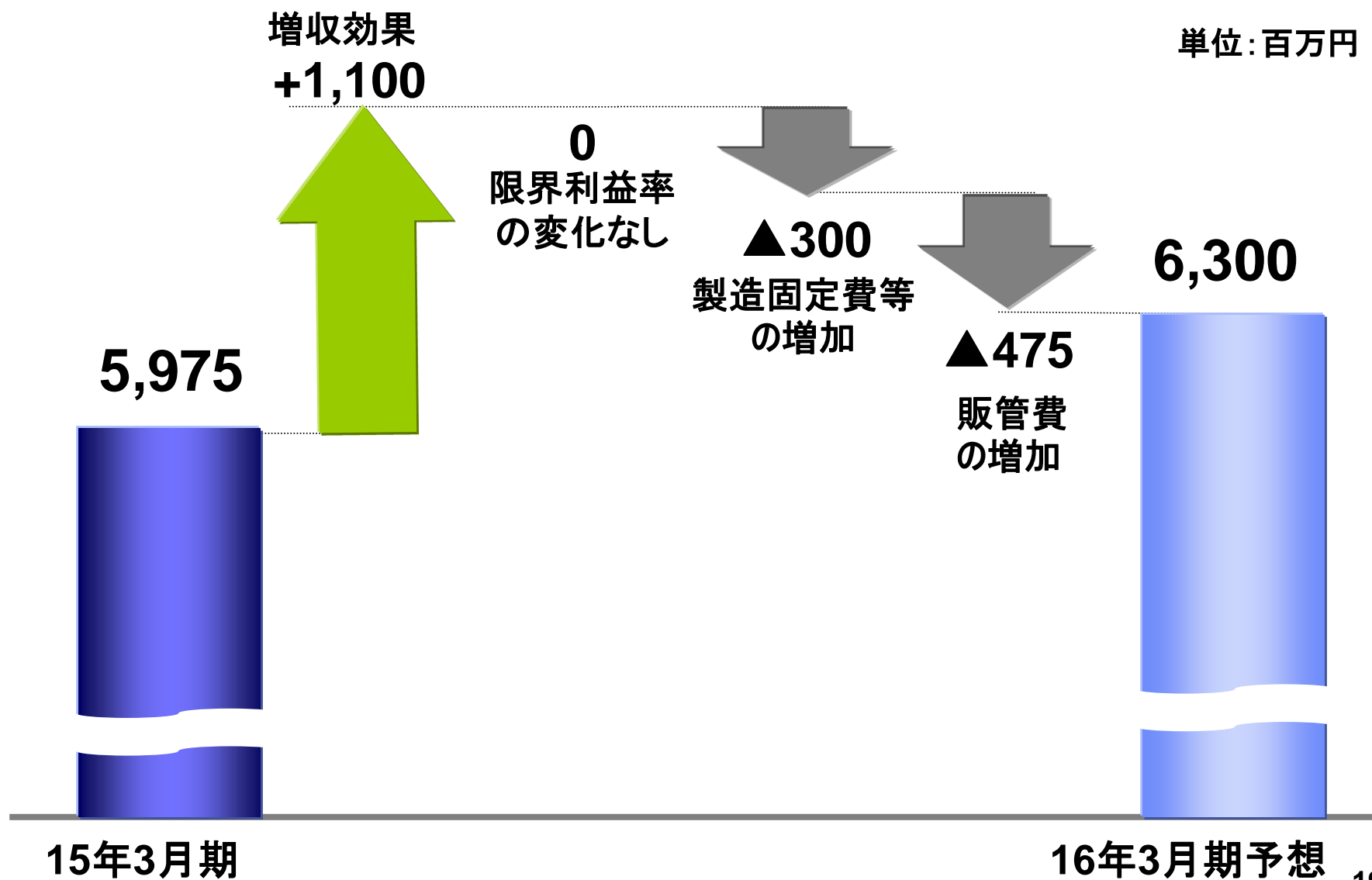
単位:百万円



2016年3月期予想

単体営業利益 対前期比増減要因

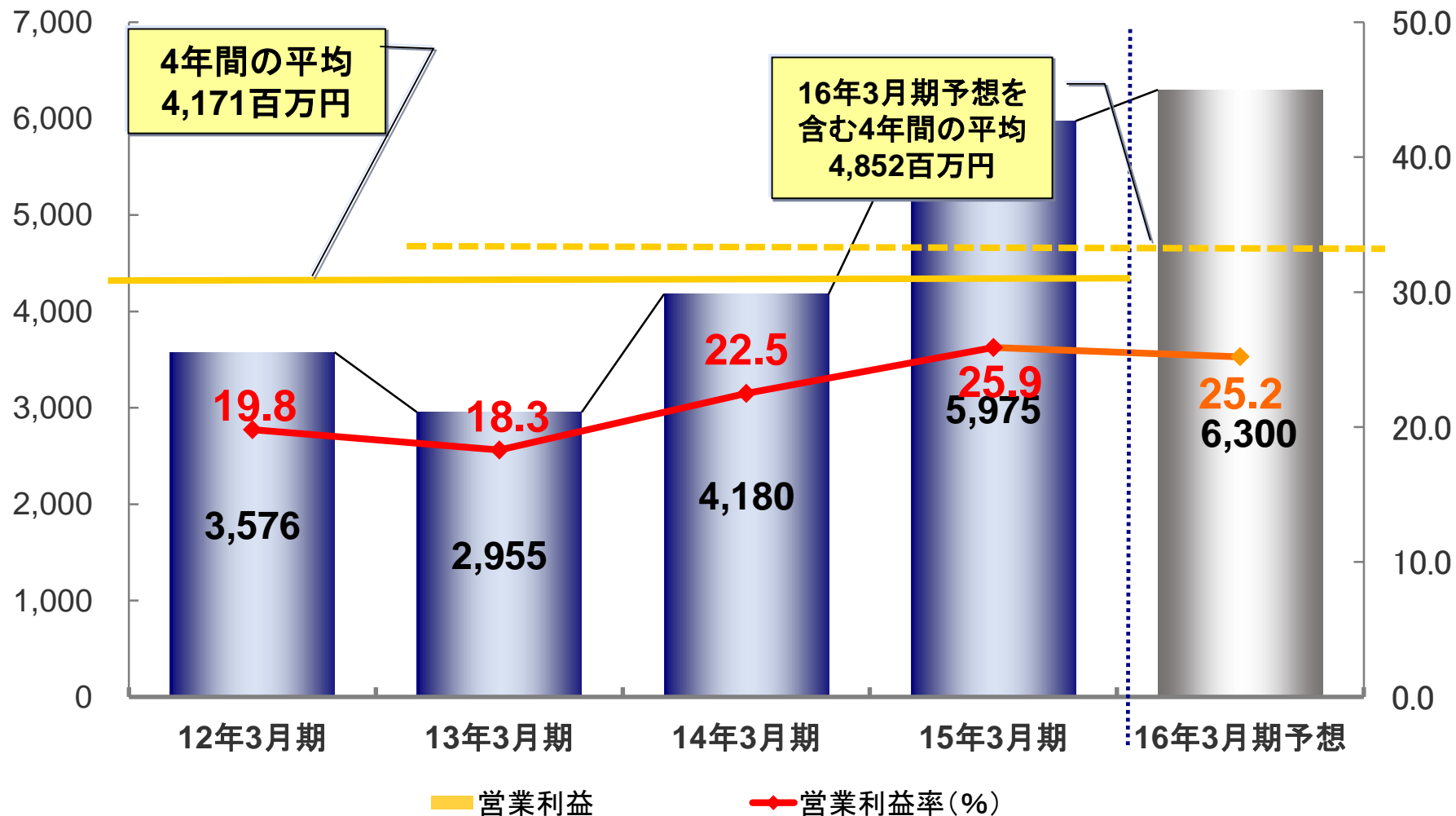
単位:百万円



単体営業利益の推移

単位:百万円

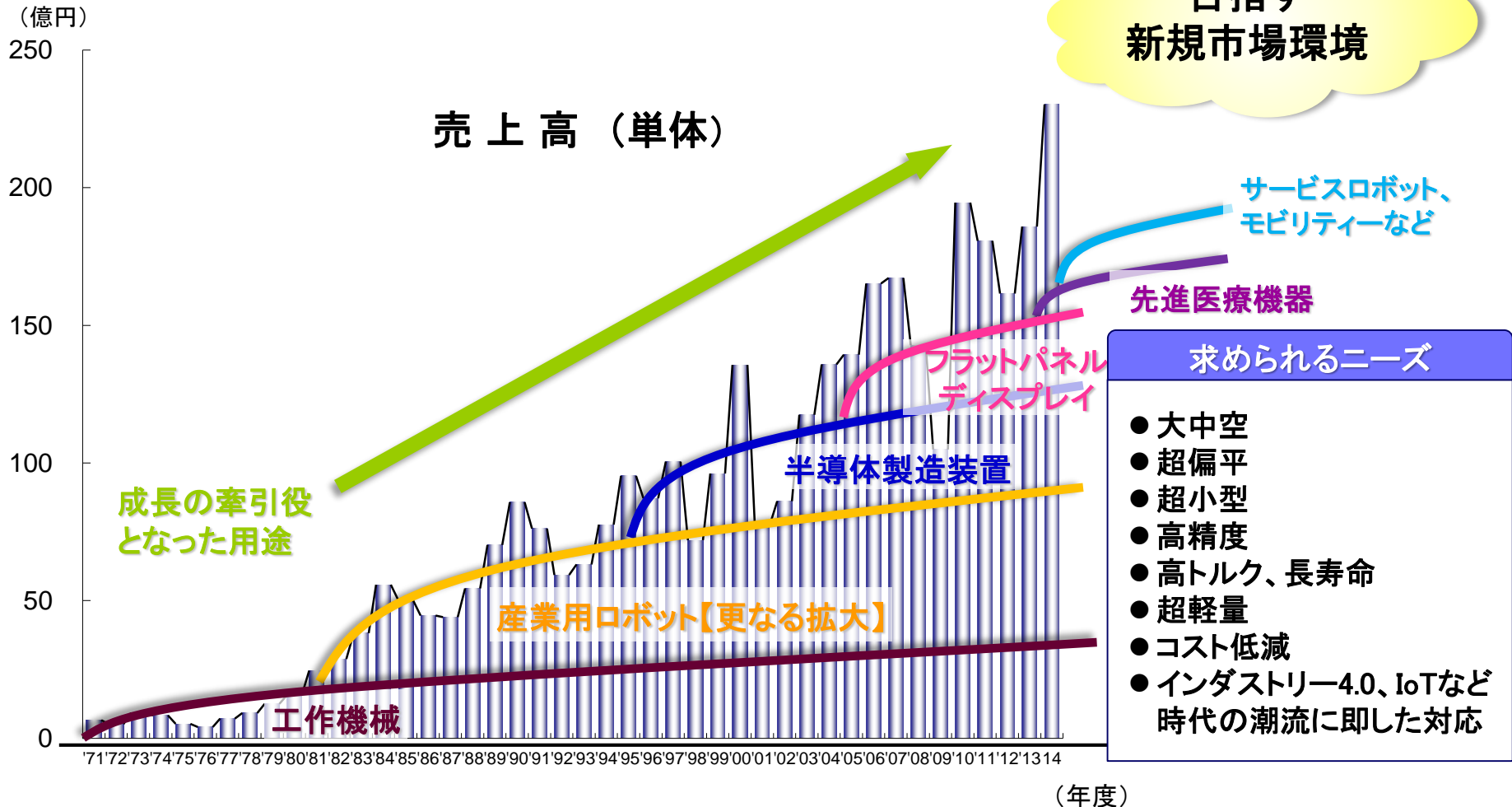
単位:%



The background features several overlapping, hand-drawn blue scribbles that form a large, irregular shape around the central text.

新中期経営計画

当社の成長の軌跡



当社グループを取り巻く環境

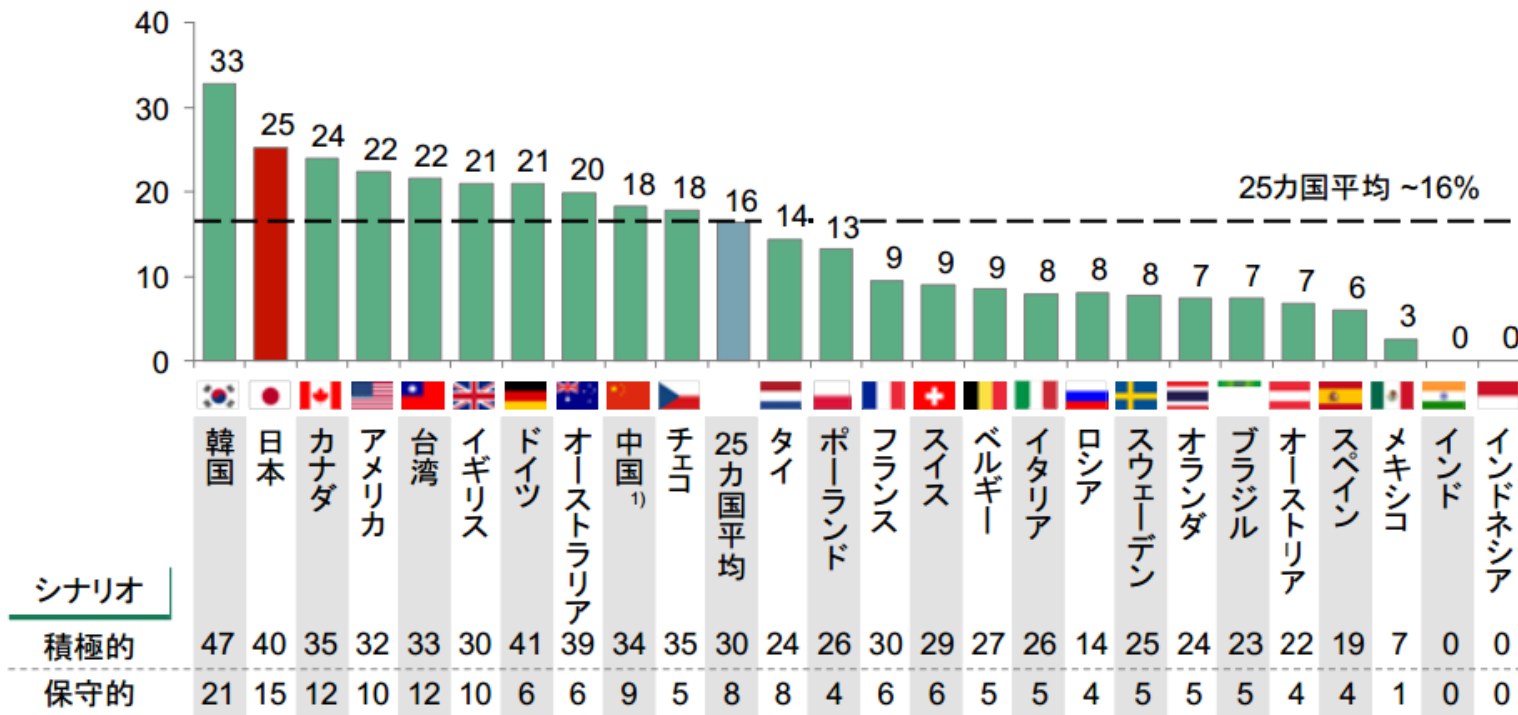
		事業環境
全体		<ul style="list-style-type: none"> 世界の減速機市場は年率6%前後で成長
主な用途	産業用ロボット	<ul style="list-style-type: none"> 人件費の高騰等を背景に、従来のように先進国だけではなく、新興国でも利用される機会が増加 従来型のように床に固定されておらず、人との協調作業が可能なロボット等、新概念ロボットの萌芽
	新規用途	<ul style="list-style-type: none"> パーソナルモビリティ、歩行アシスト等の生活・介護分野また自動運転制御などへの用途拡大が立ち上がる可能性 油圧・空圧機構の電動化が進み、適用領域が拡大
地域	日本	<ul style="list-style-type: none"> 世界市場で大きなシェアをもつ産業用ロボットメーカー向けが中心。ただし、顧客の多くは中国へ生産拠点を移転
	中国/アジア	<ul style="list-style-type: none"> 中国地場ロボットメーカー向け需要増加。日欧ロボットメーカーの生産拠点移転に伴い、現地での対応が増加(コストダウン・短納期対応・現地でのサポート力が急務)
	米国/欧州	<ul style="list-style-type: none"> 高い人件費、医療費に抗すべく軽量かつ高精度のロボット機構の需要が高まる予測 Google等を中心として、新たなコンセプト・特化したサービス用途のロボット市場が立ち上がる可能性

産業用ロボットの費用対効果

- 産業用ロボット導入の急拡大による人件費削減率
- 先進国ほど人件費が高く、ロボットの導入が期待できる。

産業用ロボット導入の急拡大による人件費削減率(2014年と2025年の比較)

(%、生産性調整後の人件費ベース)



2025年までに、自動化できる業務の23%はロボットが担うと予測される

注1: 中国は揚子江デルタ地域のデータ

出所: STAN Bilateral Trade Database、米国労働統計局、BCG分析

当社グループの事業領域

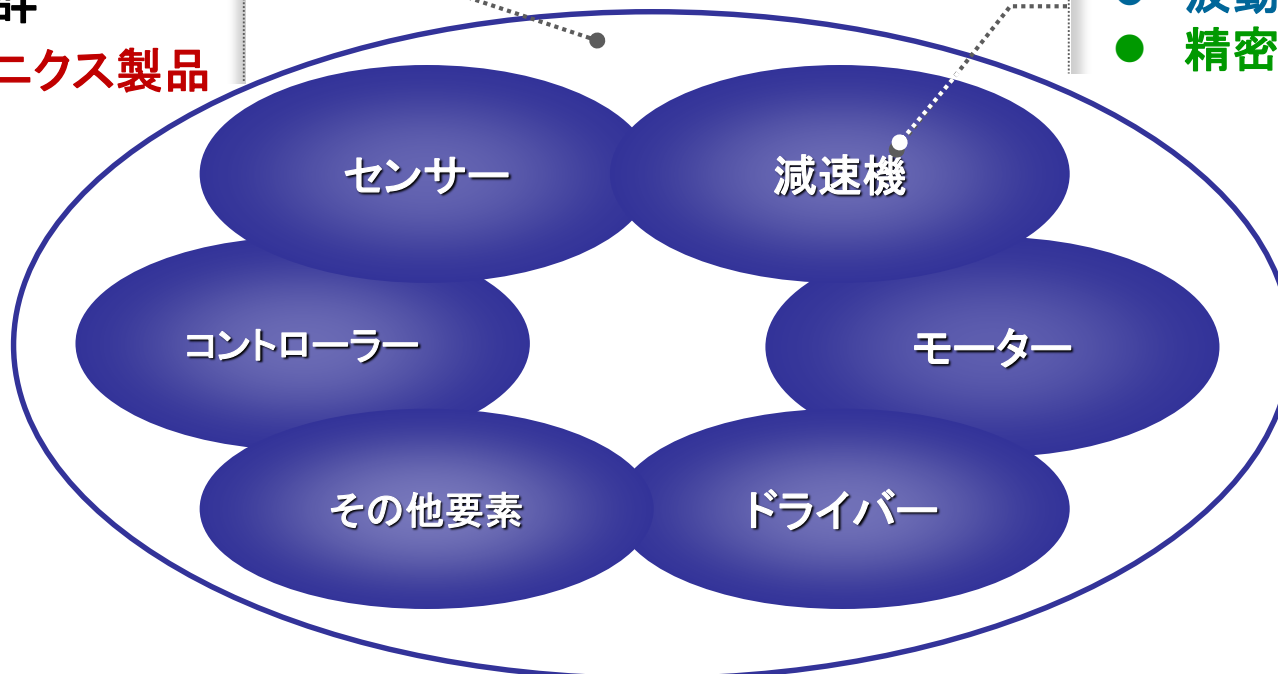
「トータル・モーション・コントロール」の提供

総合的なモーション
コントロールを提供
する製品群

- **メカトロニクス製品**

減速機だけの製品群

- 波動歯車装置
- 精密遊星減速機



トータル・モーション・コントロールの概念図

新中期経営計画における基本方針①

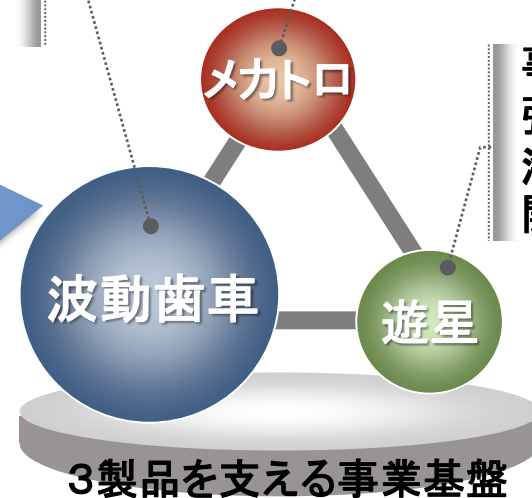
目指す事業構造

波動歯車：波動歯車装置
 遊星：精密遊星減速装置
 メカトロ：メカトロニクス製品

競争優位を高めることによる圧倒的なポジションの確立

お客様に対する課題解決力向上によるニッチトップの地位確立

事業体制の強化による海外市場の開拓



現状

- 波動歯車装置に大きく依存した事業構造
- メカトロニクス製品の伸び悩み
- 精密遊星減速装置の海外展開取り組み開始

～18年3月期

- 波動歯車装置の確実な成長
- アクチュエーターの競争力強化によるメカトロニクス事業拡大
- アジア市場における精密遊星減速装置のブランド力向上

新中期経営計画における基本方針②

主要3製品の競争力と事業基盤の強化

メカトロニクス 製品	<ul style="list-style-type: none">● 課題解決力向上によるニッチトップの地位確立● サービス・販売体制の強化● コア技術の強化による新製品の積極投入
精密 遊星減速装置	<ul style="list-style-type: none">● 事業体制の強化による海外市場の攻略● 海外市場における販売体制の強化● 研究開発体制の拡充
波動歯車装置	<ul style="list-style-type: none">● 競争優位の向上と圧倒的なポジションの確立● ロボット用途のさらなる深耕と新規用途の開拓● 多様なニーズを満たす新製品の開発と市場投入

新中期経営計画における基本方針③

アジア市場の育成と事業基盤の整備

アジア市場における
積極的拡販

- 地域密着体制の整備とブランドの強化・浸透

QCDSのあくなき追求による
顧客志向型組織の高度化

- 市場要求を満たす組織能力の引き上げ

持続的な成長を可能と
する人材の育成

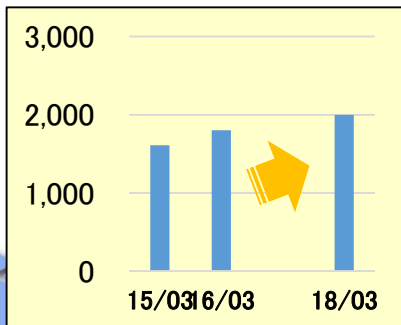
- 国際人材、マネジメント人材の育成

地域別売上高計画

(表示単位:百万円)

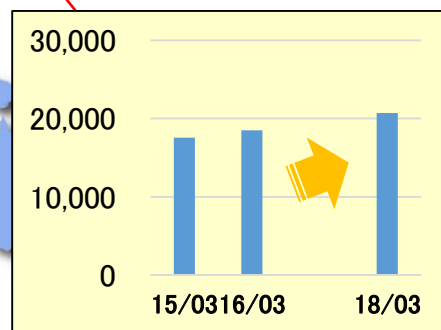
欧州

- 産業用ロボット
- 航空・宇宙関連
- 半導体製造装置
- 次世代ロボット
- 工作機械



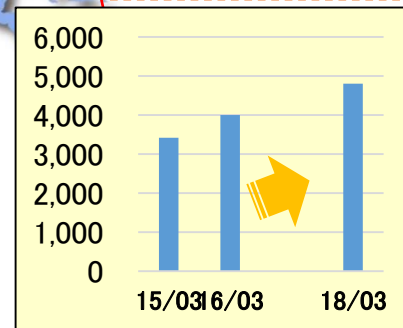
日本

- 産業用ロボット
- 半導体製造装置
- FPD製造装置
- 次世代ロボット
- 工作機械



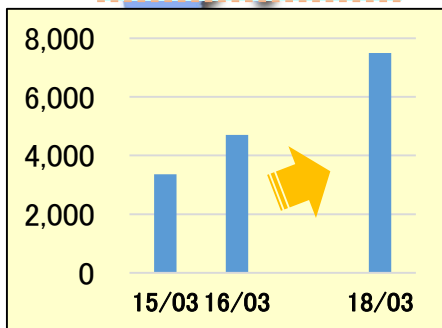
北米

- 航空・宇宙関連
- 半導体製造装置
- 先進医療機器
- 次世代ロボット



アジア

- 産業用ロボット
- 工作機械
- 半導体製造装置



日・米・欧・韓 4拠点生産体制

既存の4拠点生産体制を維持・拡大する

ドイツ ヘッセン州
ハーモニック・ドライブ・アーゲー



ハーモニック・ドライブ・アーゲー

■所在地: ドイツ国ヘッセン州リンブルグ



ハーモニック・ドライブ・エルエルシー
マサチューセッツ州

アメリカ



ドイツ



韓国

国内

韓国大邱広域市 三益ADM



SAMICK ADM

■所在地: 韓国 大邱広域市



ハーモニック・ドライブ・システムズ
長野県安曇野市

ハーモニック・ドライブ・エルエルシー

■所在地: 米国 マサチューセッツ州

株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ

■所在地: 長野県安曇野市

日・米・欧・韓 4拠点生産工場



(ドイツ) Harmonic Drive AG



(米国) Harmonic Drive LLC



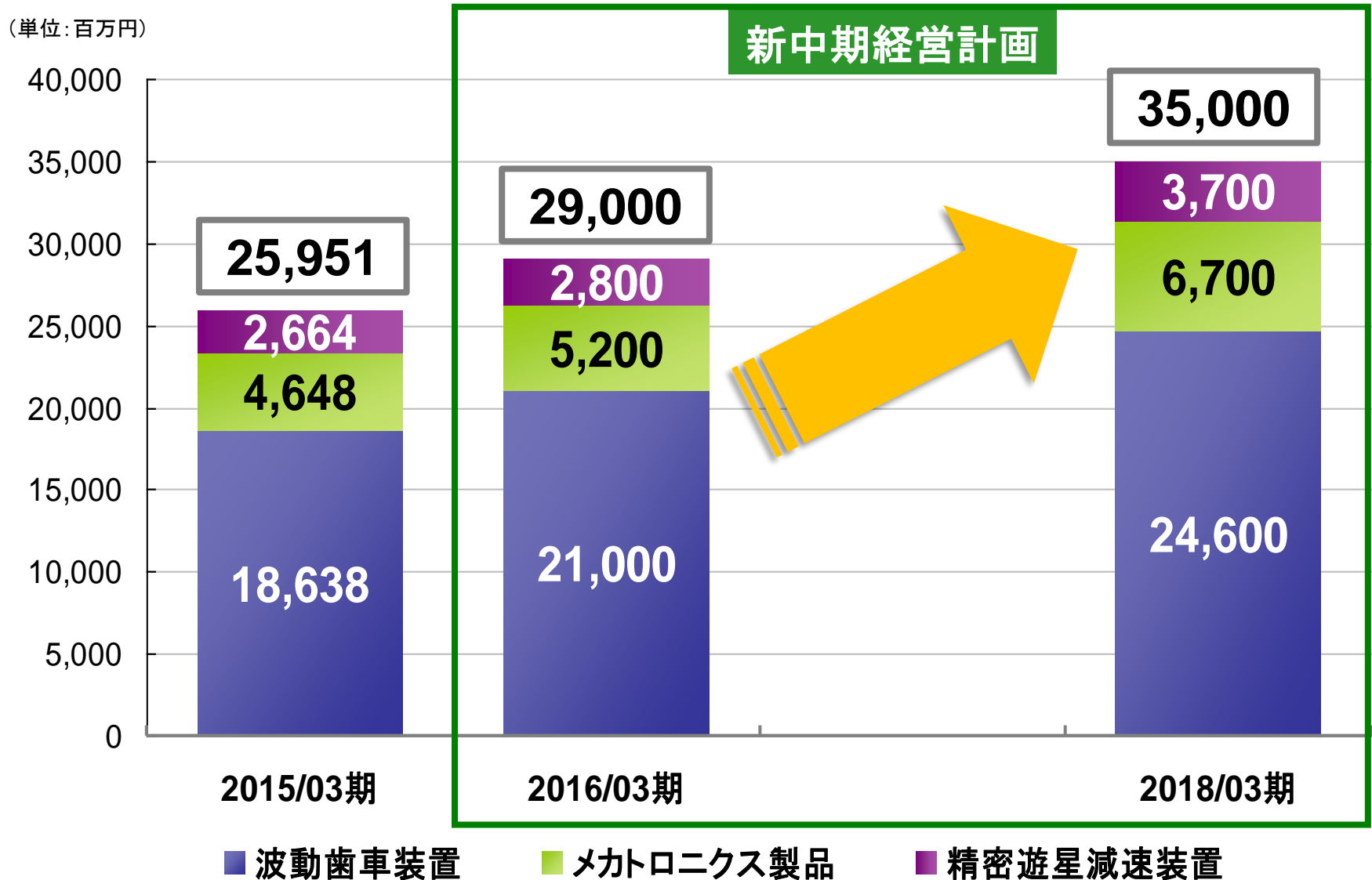
ハーモニック・ドライブ・システムズ 穂高新工場
完成イメージ図



(韓国) SAMICK ADM
31

新中期経営計画 【連結売上高】

(単位:百万円)



新中期経営計画 【連結財務目標】

単位:百万円

	15年3月期(実績)		16年3月期(計画)		18年3月期(計画)	
	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)	金額	百分比(%)
売上高	25,951	100.0	29,000	100.0	35,000	100.0
営業利益	7,066	27.2	7,800	26.9	9,500	27.1
当期純利益	4,833	18.6	5,500	19.0	7,000	20.0

	前中期3カ年累計 (13/03期~15/03期実績)	新中期3カ年累計 (16/03期~18/03期計画)
設備投資額	5,158	10,000
減価償却費	3,595	6,000
研究開発費	3,690	4,800



長期ビジョン

2020年のありたい姿と目指す業界ポジション

当社の
事業領域

「トータル・モーション・コントロール」の提供

2020年の
ありたい姿

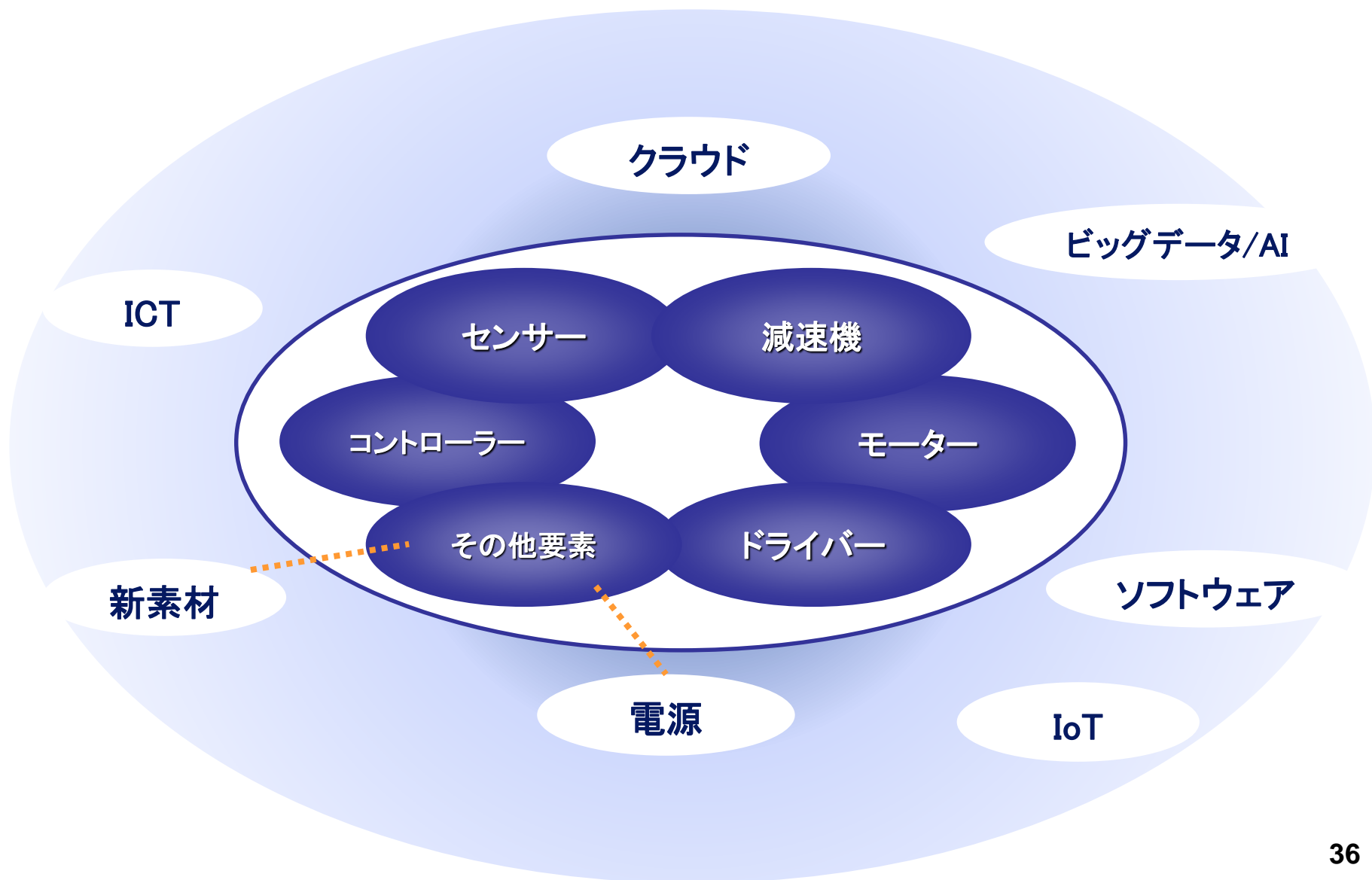
価値ある製品とサービスの提供によって
モーション・コントロール業界において
唯一無二の存在であり続ける

目指す
ポジション

独創的な技術で信頼される
アクチュエーターメーカー

精密減速機分野の
リーディングカンパニー

新たな要素技術との連携

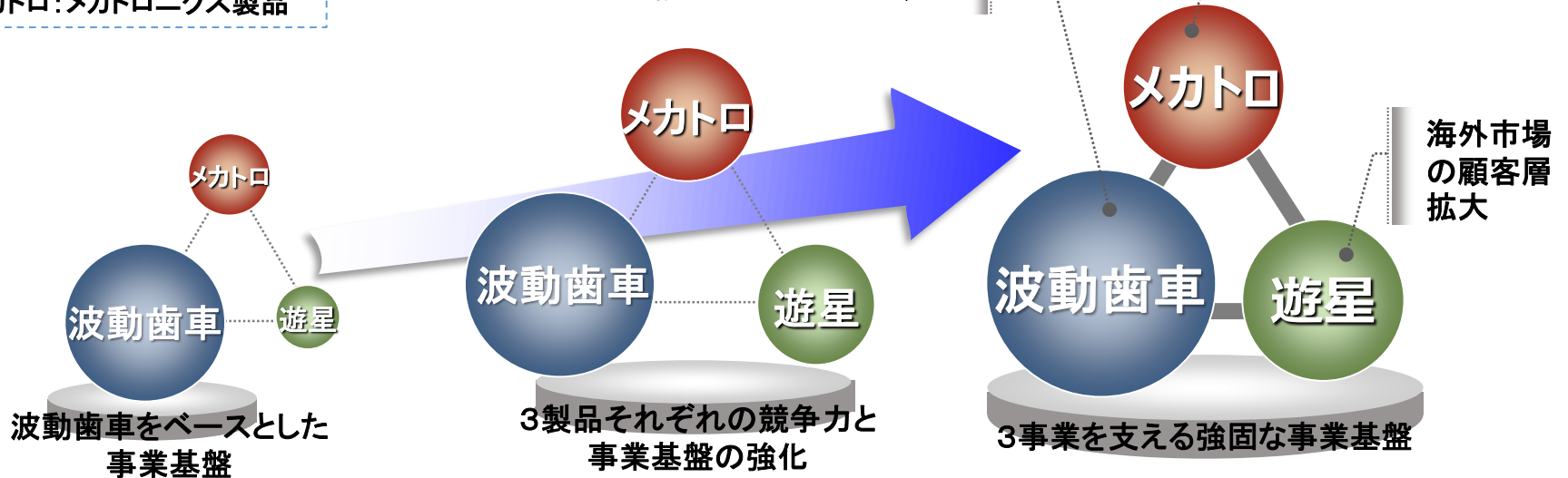


目指す事業構造

波動歯車: 波動歯車装置
 遊星: 精密遊星減速装置
 メカトロ: メカトロニクス製品

モーションコントロールを
 構成する波動歯車装置

精密減速機技術を応用
 した独創的なモーション
 コントロールの提供



現状

- 波動歯車装置に大きく依存した事業構造
- メカトロニクス製品の伸び悩み
- 精密遊星減速装置の海外展開取り組み開始

16年～18年3月期

- 波動歯車装置の確実な成長
- アクチュエーターの競争力強化によるメカトロニクス事業拡大
- アジア市場における精密遊星減速装置のブランド力向上

19年～21年3月期

- 主要3製品がモーションコントロール業界で高いプレゼンスを獲得している

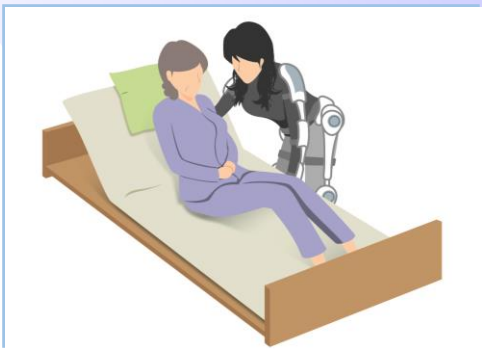
次世代モーションコントロールの事例

医療・介護分野

手術ロボット



介護・ヘルスケアロボット



作業用分野

協業軽作業ロボット



ライフロボティクス社ホームページより



リシンク・ロボティクス社ホームページより

次世代モビリティ

無人走行自動車



スマートモビリティ



WHILL社ホームページより

次世代モーションコントロールへの対応

独創的な価値の創造

高精度 + α

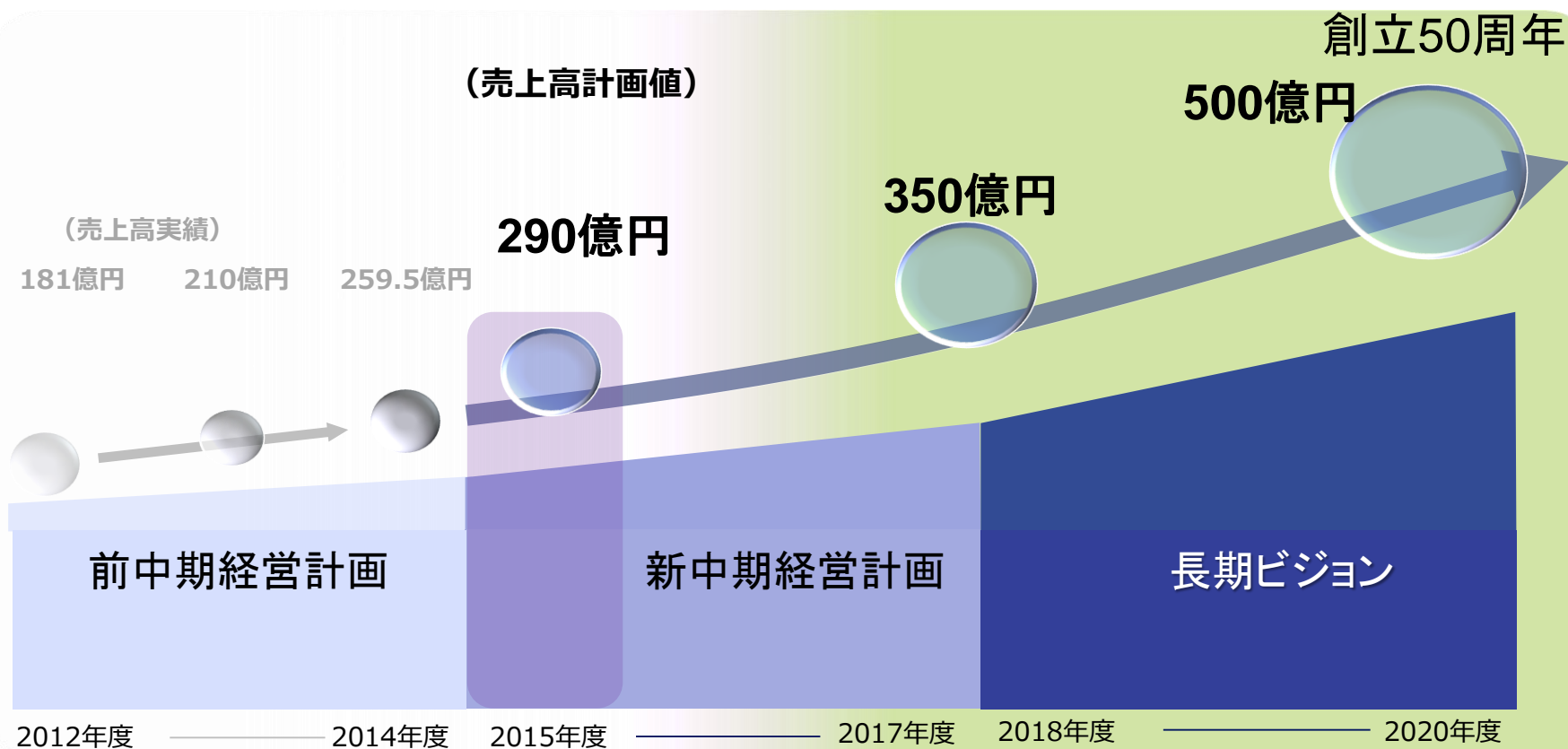
- ・大中空
- ・超扁平
- ・超小型
- ・超軽量
- ・長寿命

顧客とのパートナー
シップの強化

研究開発の強化

成長のイメージ

新たな成長ステージに向けて



株式会社 ハーモニック・ドライブ・システムズ

2015年3月期決算説明会

2015年5月19日

このプレゼンテーション資料には、2015年5月19日現在の将来に関する予想が含まれております。この予想は当社経営者の判断に基づくものであり、事業環境の変動等のリスクや不確定要因を含んでおります。そのため、実際の業績は、これら見通しと大きく異なる結果となる場合があることをご了承願います。